

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
インターンシップ I Internship		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択 ()		特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
キャリア教育 I・II・III・IV、 ビジネス実務演習 I・II				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
コンピュータリテラシー I・II 必修				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
立川 聡子	本館 2F	金曜 4 時限		授業中に指示します
授業の概要				
インターンシップの事前学習として、インターンシップの意義や心構えについて学び、また、ビジネスマナー、コミュニケーション能力の向上を目指し、実践的に習得する。本授業インターンシップ I、後期科目インターンシップ II へと継続して学習する。				
授業の目標				
①社会人として相応しい身だしなみ、言葉づかいを身につけ、心を込めた明るく爽やかな挨拶ができるようにする。 ②インターンシップ実習生の立場を自覚し、明確な目的意識をもち、実習の目標を説明できるようにする。 ③仕事の基本であるコミュニケーション能力を身につけ、報告・連絡・相談ができるようにする。				
授業の方法				
講義、マナー指導、報告、発表、そして事例研究を取り入れ、実際のインターンシップを想像できるように演習を行う。個別の対応を行う。				
学習の成果 (学習成果)				
働くことはどういうことか、社会人として必要な心構えや、知識・技術はどのようなものか、自身のインターンシップの意義について説明することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス、インターンシップまでのスケジュールと諸手続き、これまでの実績と受入先について			
第2回目	ビジネスマナーの基本			
第3回目	インターンシップとは何だろう① インターンシップの意味を考える			
第4回目	インターンシップとは何だろう② 学生に求められるもの レポート①意義・心得、次回授業前日。			
第5回目	心を伝えるコミュニケーション・スキル① ビジネスマナーと身だしなみ			
第6回目	心を伝えるコミュニケーション・スキル② 文章の書き方、話し方、メモの取り方			

第7回目	心を伝えるコミュニケーション・スキル③ 電話のかけ方/受け方 調査①希望先、第11回提出
第8回目	心を伝えるコミュニケーション・スキル④ プラスアルファの「心」を伝えるコミュニケーション
第9回目	心を伝えるコミュニケーション・スキル⑤ ステップアップ レポート②コミュニケーション、次回前日まで
第10回目	業種や職種の研究① 企業や団体、職種について調べる。
第11回目	業種や職種の研究② 企業や団体、職種について調べた結果を発表、職種についてワークを行い発表
第12回目	前半の総復習、まとめのワーク レポート③インターンシップの志望動機、次回前日まで
第13回目	前回のフィードバック、電話のかけ方
第14回目	先輩の体験談から学ぶ① 報告会の意義と留意点、電話の受け方、調査②希望先 第16回提出
第15回目	先輩の体験談から学ぶ② 2年生報告、成績発表日 レポート④:先輩から学ぶ、8/末まで。

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	40%	課題・提出物の準備、欠席・遅刻届、身だしなみ、挨拶、マナー、報告・連絡・相談の実践ができ、指導されたことは速やかに改善することができる。
レポート	60%	①要件を充足している。②自分の考えを述べている。③論理的にまとめている。④設問に的確に解答している。 各15点
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		

教科書と参考図書

『ワークで学ぶ インターンシップリテラシー』西文社、¥900-

履修上の留意点・ルール

欠席、遅刻は減点(欠席4点、遅刻3点)とする。インターンシップは、以下の諸条件を満たされている場合に、学内「インターンシップ協議会」の判定によって許可される。条件①前半・後半各15回中、欠席1回、または遅刻2回まで。欠席届、遅刻届を提出のこと。②課題は期限内にすべて提出済。③指摘は謙虚に受け止め、改善できる等々。*費用、その他、詳細は授業で説明。
ディズニー研修を11月に予定しています。基本、インターンシップを履修している学生とし自由参加となります。